

「スマホ・ネット問題」の取組を充実させよう！

－「教職員研修」・「保護者研修」・「情報モラル等の指導」の徹底－

全取組
100%
実施を！


インターネットは、情報伝達や情報収集において今や欠かせないものであり、その利便性は日々向上しています。その反面、トラブルの原因となったり犯罪に利用されたりすることもあります。児童生徒を取り巻く「スマホ・ネット問題」は、全ての小中学校において対策が求められる喫緊の課題です。

ネット社会の特徴




非匿名性

見かけ上は、個人が特定されにくい、実は匿名の世界ではない



非対面性

相手と直接会わなくてもコミュニケーションが成立する



広域性・拡散性

一瞬にして世界中に情報が広がり、削除が困難である

保護者・地域向け学習リーフレット「知っていますか？スマホ・ネットのこと」H27.6(岡山県教育委員会)

「スマホ・ネット問題」3つの取組 管内の実施状況（平成27年8月末）

－3つの取組は「岡山県のいじめ問題対策」の重点的取組として徹底をすすめます－

教職員研修の実施

教職員の資質能力向上のため、ネット上のいじめとその対処法の研修を全ての学校で実施する。

中学校 62.5%
小学校 73.1%

保護者対象の研修

保護者のSNS等の危険性等の認識を深めるため、小学校高学年、中学校の期間にそれぞれ1回以上実施する。

中学校 62.5%
小学校 47.6%

児童生徒への指導

小学校高学年以上の全児童生徒について、情報モラル等の指導を各学年で計画的に実施する。

中学校 75.0%
小学校 54.9%

久米南町立学校の取組紹介

10月5日・6日の2日間、久米南町立学校（久米南中，誕生寺小，弓削小，神目小）では、兵庫県立大学の学生（竹内和雄研究室所属）を講師に招き、「ケータイ・スマホ情報モラル教室」を開催しました。



神目小5・6年



久米南中2年

小学校での取組が急務！